

JAバンク栃木における地域密着型金融の取組状況（平成 26 年度）

JAバンク栃木（栃木県下JAと農林中央金庫宇都宮支店）では、農業と地域社会に貢献するため、平成 25～27 年度JAバンク栃木中期戦略に基づき地域密着型金融の推進に取り組んでおります。

この度、平成 26 年度の地域密着型金融の取組状況について取りまとめましたので、ご報告いたします。

1 農山漁村等地域の活性化のための融資を始めとする支援

（JAバンク栃木の農業メインバンク機能強化への取組み）

JAバンク栃木は、地域における農業者との結び付きを強化し、地域を活性化するため、次の取組みを行っています。

（1）農業融資商品の適切な提供・開発

JAバンク栃木は、各種プロパー農業資金を提供するとともに、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いを通じて、農業者の農業経営と生活をサポートしています。

平成 27 年 3 月末時点のJAバンク栃木の農業関係資金残高^{（注1）}は 35,870 百万円（うち農業経営向け貸付金 16,141 百万円）、日本政策金融公庫等の受託貸付金^{（注2）}残高は 5,846 百万円を取り扱っています。

（注1）農業関係の貸出金とは、農業者および農業関連団体等に対する貸出金であり、農業生産・農業経営に必要な資金や、農産物の生産・加工・流通に係る事業に必要な資金等が該当します。

（注2）JAバンク栃木が農業者の窓口となり、日本政策金融公庫などの貸付金の受託取扱いを行っています。受託貸付金残高には、JA転貸分を含みます。

【営農類型別農業資金残高】 単位 百万円

営農類型	27 年 3 月末現在
農業	16,141
穀作	5,696
野菜・園芸	5,157
果樹・樹園農業	1,472
工芸作物	64
養豚・肉牛・酪農	3,732
養鶏・鶏卵	19
養蚕	1
その他農業（注1）	6,461
農業関連団体等（注2）	13,268
合計	35,870

（注1）「その他農業」には、複合経営で主たる業種が明確に位置づけられない者、農業サービス業、農業所得が従となる農業者等が含まれています。

（注2）「農業関連団体等」には、JAや全農（経済連）とその子会社等が含まれています。

【資金種別別農業資金残高】

単位 百万円

種 類	27年3月末現在
プロパー資金 (注1)	29,921
農業制度資金 (注2)	5,949
農業近代化資金	4,123
その他制度資金 (注3)	1,826
合 計	35,870

(注1) プロパー資金とは、JAバンク原資の資金を融資しているもののうち、制度資金以外のものをいいます。

(注2) 農業制度資金には、①地方公共団体が直接的または間接的に融資するもの、②地方公共団体等が利子補給等を行うことでJAバンク栃木が低利で融資するもの、③日本政策金融公庫等が融資するものがあり、ここでは①③の転貸資金と②を対象としています。

(注3) その他制度資金には、農業経営改善促進資金(スーパーS資金)や農業経営負担軽減支援資金などが該当します。

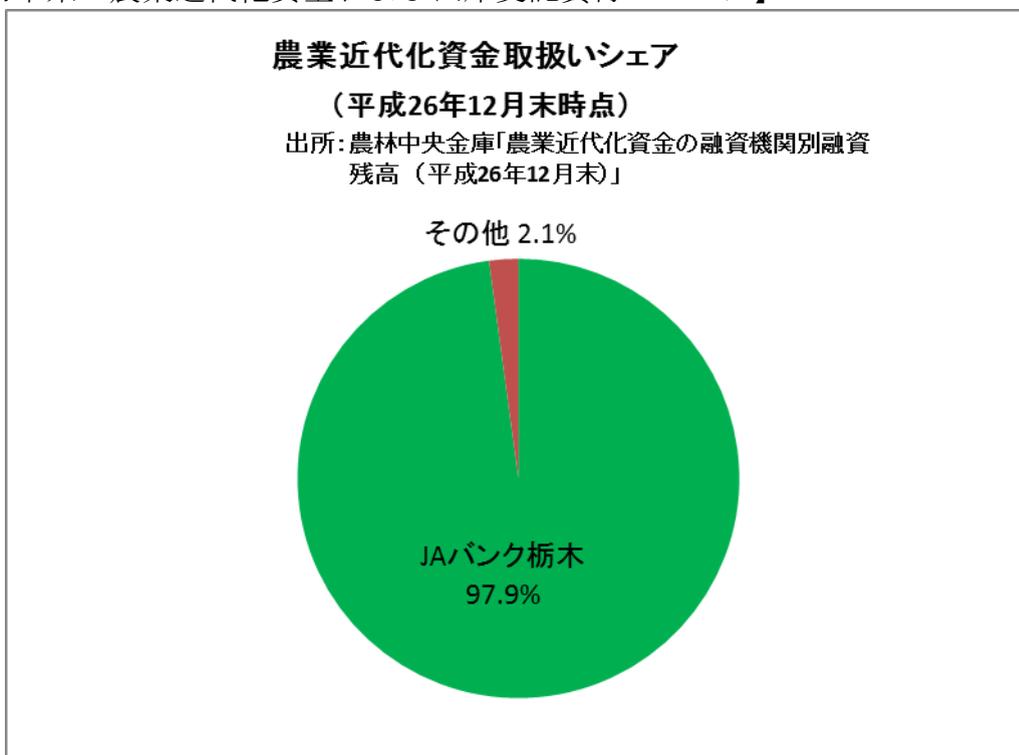
【農業資金の受託貸付金残高】

単位 百万円

種 類	27年3月末現在
日本政策金融公庫資金	5,846

(注) JAバンク栃木では、主にJAを窓口として、日本政策金融公庫資金の受託貸付金を取り扱っています。

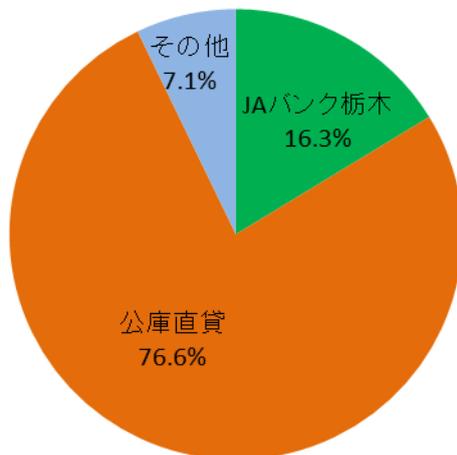
JAバンク栃木は主要な農業関係の制度資金である、農業近代化資金や日本政策金融公庫資金の取扱いにおいてトップシェアとなっています。

【栃木県の農業近代化資金および公庫受託貸付のシェア】


公庫農業資金取扱いシェア

(平成27年3月末時点)

出所: 日本政策公庫「業務統計年報」
農林中央金庫「農業融資残高一覧表」



(2) 担い手のニーズに応えるための体制整備

JAバンク栃木では、地域の農業者との関係を強化・振興するための体制整備に取り組んでいます。

JAでは、本・支店（本・支所）の農業融資担当者が、営農・経済担当者が農業者からお聞きした情報も含めて把握して、農業融資に関する訪問・資金提案活動を実施しています。また、県内10JAの本・支店（本・支所）には70人の「担い手金融リーダー」が設置され、支店の活動をサポートしています。

農林中央金庫宇都宮支店では、JAの活動サポート・指導機能、農業法人等への融資相談機能を担う「県域農業金融センター機能」を構築し、これらの機能の拡充、強化を実施しています。

(3) JA内事業間連携の強化

農業者の多様なニーズにJAをあげて応えていくため、営農・経済事業等との合同会議・研修会の開催や農業者への同行訪問等により、これまで以上に、JA内事業間連携を強化しています。

【具体的取組事例】
a 第10回JAバンク栃木担い手金融リーダー会議

開催日	平成27年3月12日
主催者	農林中央金庫宇都宮支店
参加対象者	農協役職員
参加人数	77名
内容	農家支援の取組強化を図ることを目的に、農業融資担当者および営農・経済渉外担当者を参集し、開催しました。会議では、栃木県下都賀郡壬生町のいちご農家であり、東京農業大学客員教授も務める三上光一氏の講演にて農業を取り巻く情勢のほか、小林会計事務所より相続税の改正と対策について理解を深めました。



b 第15回パワフルアグリフェア

開催日	平成26年7月26, 27日
主催者	JAグループ栃木
総来場者数	県内外より5,849名
内容	パワフルアグリフェア(JAグループ栃木農業機械等統一展示会)に参画し、会場内に設置したJAバンクコーナーにおいて、農業資金等のPRおよび借入相談対応等を実施しました。



(4) 6次産業化に向けた農商工連携の推進

(社)とちぎ農産物マーケティング協会主催の商談会を、農林中央金庫宇都宮支店が全農とちぎ、栃木県と共に共催し、生産者・JAと加工流通業者との橋渡しを行うなど、6次産業化に向けた農商工連携に取り組んでいます。

【商談会開催状況】

商 談 会 名	第8回栃木県農産物等展示商談会
開 催 日	平成27年1月20日
主 催 者	(社)とちぎ農産物マーケティング協会
参 加 団 体 数	157団体
参 加 人 数	県内外より約2,000名
内 容	本県産の農産物や食品の販路拡大を目的とした展示・商談会を、宇都宮市マロニエプラザにて開催し、栃木の食文化発展による地域経済の活性化に取り組みました。



2 担い手の経営のライフサイクルに応じた支援

JAバンク栃木は、担い手をサポートするため、ライフサイクルに応じて、次の取組みを行っています。

(1) 新規就農者の支援

JAバンク栃木では、新規就農者の経営と生活をサポートするため、就農支援資金などを取り扱っています。

【新規就農者をサポートする資金の取扱実績】

単位 件, 百万円

資金名	平成 26 年度 実行件数	平成 26 年度 実行金額	平成 27 年 3 月末 残 高
就農支援資金	14	110	628

【具体的取組事例：JA しおのや 新規就農者育成研修事業】

JA しおのやにおいては、平成 24 年 7 月に JA 出資型生産法人として㈱グリーンさくらを設立しました。農作業受託業務を軸に、農畜産物の生産加工販売も行っております。同法人は、JA 自らが担い手となることで、高齢化等により営農の持続が難しい担い手に代わって農地を維持する役割を担うほか、新規就農希望者を受け入れ、農業実務研修実施、後継者の育成など、地域農業の活性化に向けた事業を展開しております。

毎週日曜日(隔週)で、日本テレビ系列「笑点」やフジテレビ系列「サザエさん」の放送時間内に放映中!

JA しおのや研修農場が舞台!

農業は、まだまだおもしろくできる。

研修生が登場、農の未来PR!

JA しおのやが、農業の担い手育成と地域農業の活性化に向けて独自に進める「新規就農者育成研修事業」が「日本農業の未来」をテーマにCM放送している農林中央金庫に評価され、農業メインバンク広告の新たなTVCMとして、3月から全国で放映されています。

映像は、農業メインバンク「研修農場」篇として、新規就農を目指す研修生が登場します。

CMは、毎週日曜日(隔週)で、日本テレビ系列「笑点」とフジテレビ系列「サザエさん」の放送時間内に放映されています。放映期間は約1年間です。

担い手・後継者育成に尽力!

JAの子会社グリーンさくらでは、農業実務や農業経営に習熟した研修生を通じて地域農業の持続を促す新規就農者を育成することを目的に、研修生に実践的な農業研修を実施し、就業支援を行っています。

平成27年度の研修生は研修生5人、研修員の10人、新規就農者10人、研修生が農業実務の現場に参入しています。

<放映中のカット表は裏面をご覧ください>

1 JA しおのや研修農場

2 藤永 大樹さん
「これってうちの決められたんで、」

3 一重雄です」

4 谷田 亮二さん
「そうとう楽しいですね」

5 柳田 幸子さん
「楽しいですよ」
監督 「本当ですか」
柳田さん 「楽しいよね」

6 吉澤 幸広さん
「はい」

7 監督 「将来の夢って」
村上 剛成さん 「農村レストラン やりたいっすかね」

8 吉澤 一浩さん
「そうですね、やっぱりニラ養豚ってたいですね」

9 黒崎 博徳さん
「野菜方面みたいなのをやりたいっすね」

10 柳田さん (笑い声)

11 谷田さん
「これはうちのコシヒカリ」

12

13 JA職員
「休憩だモー」

14 (ナレーション)
農業と地域の未来を支援します。

15 研修生
「いそいそ!」

16 (ナレーション)
JAバンク

(2) 経営不振農家の経営改善支援

JAバンク栃木では、負債整理資金の対応にあたり、関係機関と協議するなど、農業者の経営再建に向けて取り組んでいます。

【平成 26 年度の農業者の経営改善支援等の取組み実績】

単位 先

		期初経営改善支援取組先 A	Aのうち再生計画を策定した先数 a	Aのうち期末に債務者区分がランクアップした先数 b	Aのうち期末に債務者区分が変化しなかった先数 c	再生計画策定率 = a / A	ランクアップ率 = b / A
正常先①		71	32		69	45.1%	
要注意先	うちその他要注意先②	82	12	11	60	14.6%	13.4%
	うち要管理先③	7	5	6	1	71.4%	85.7%
破綻懸念先④		36	12	3	32	33.3%	8.3%
実質破綻先⑤		19	1	2	17	5.3%	10.5%
破綻先⑥		0	0	0	0	-	-
小計(②～⑥の計)		144	30	22	110	20.8%	15.3%
合計		215	62	22	179	28.8%	10.2%

(注) 期初経営改善支援取組先および債務者区分は平成 26 年 2 月末時点でのものです。

(3) JAバンク栃木講演会・セミナー等の開催

JAバンク栃木および栃木県農業法人協会主催により、農業法人経営者や系統団体等を招いたセミナーを開催し、異業種間の情報交流を促進しています。

【具体的取組事例】

セミナー名	平成26年度 栃木県農業経営セミナー
開催日	平成27年1月16日
主催者	JAバンク栃木, 栃木県農業法人協会
参加対象者	農業法人経営者, 農協役職員, 行政, 関係団体等
参加人数	88名
内容	<p>第一部 ①「JAバンクの利子補給制度の紹介」 講師 農林中央金庫 宇都宮支店</p> <p>②「相続税法の改正と対策」 講師 小林会計事務所 税理士 小林 恒夫氏</p> <p>第二部 「地域と共に歩む6次産業化」 講師 有限会社伊豆沼農産 代表取締役/日本農業法人協会 副会長 伊藤 秀雄氏</p> <p>第三部 交流会</p>



3 経営の将来性を見極める融資手法を始め、担い手に適した資金供給手法の提供

JAバンク栃木では、担い手の経営実態やニーズに適した資金の提供に努めています。

(1) 負債整理資金による負担軽減支援

JAバンク栃木では、農業者の債務償還負担を軽減し、経営再建を支援するため、負債整理資金を取り扱っています。

【平成 26 年度末負債整理資金の貸出状況】

単位 百万円

資金名	平成 27 年 3 月末残高
農業経営負担軽減支援資金（注 1）	2
畜産特別資金（注 2）	21
畜産経営維持緊急支援資金	55
その他	458
合計	536

(注1) 農業経営負担軽減支援資金は、営農に必要な資金を借り受けたために生じた負債の借換えのための制度資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

(注2) 畜産特別資金は、過去の負債の償還が困難な畜産経営者に対する長期・低利の借換資金であり、JAなどの融資機関において取り扱っています。

4 農山漁村等地域の情報集積を活用した持続可能な農山漁村等地域育成への貢献

JAバンク栃木では、地域社会へ貢献するため、次の取組みを行っています。

(1) 災害被災者への支援

JAバンク栃木では、自然災害の被災者を支援するため、災害対策窓口を設置したほか、災害対策資金の創設や個別融資先の経営状況に応じて償還条件の緩和等に対応しました。

取組事例	JA名	内 容	(単位:件,百万円)	
			件数	貸付実行金額
平成26年産米価下落対策資金	うつのみや	平成26年産米の価格下落による経済的影響を受けた組合員に資金対応を行いました。	3	5
降雪被害に伴う農業経営災害資金	うつのみや	平成26年2月の降雪による農作物及び農業施設等に被害を受けた農業者に対し、農業経営災害資金貸出基準により災害復旧に資金対応を行いました。	41	233
平成26年降雪害対策特別支援資金	かみつが	平成26年2月の降雪による被害を受けた管内農業者に対して農業経営に必要な資金、生活維持に必要な資金を融通し、生活及び農業経営の安定を図るため、資金対応を行いました。	54	288
平成26年産米価下落対策資金	かみつが	平成26年産米概算金下落により、稲作経営への影響が懸念される状況の中、当面の経営に必要な資金を融通し、経営の安定を図るため、資金対応を行いました。	3	4
東日本大震災に係る災害資金の対応	はが野	東日本大震災の被災者を対象とした災害復旧支援資金を制定し、復旧支援に資金対応を行いました。	117	133
平成25年凍霜害に係る災害資金の対応	はが野	凍霜害の被災者を対象とした災害復旧支援資金を制定し、復旧支援に資金対応を行いました。	41	77
平成26年2月降雪害に係る災害資金の対応	はが野	降雪害の被災者を対象とした災害復旧支援資金を制定し、復旧支援に資金対応を行いました。	27	86
平成26年2月降雪被害対策支援資金	しもつけ	平成26年2月中旬の降雪による農作物被害を受けた農業生産者に対する農業基盤の復旧、農業経営者の安定を図るため、資金対応を行いました。	49	209
東日本大震災対策資金	しもつけ	東日本大震災に伴う東京電力福島原発事故の風評被害による農産物の市場価格下落、出荷停止等により損失を受けた農業者に資金対応を行いました。	5	25
家畜飼料高騰支援資金	しもつけ	配合飼料価格が上昇したことに対し、飼料の安定的確保と畜産経営の安定化を図るため、資金対応を行いました。	1	35
降雪被害対策資金	おやま	平成26年2月の降雪により被害を受けた管内農業者に対して、農業経営、生活維持に必要な資金を融資し、農業経営の安定を図るため、資金対応を行いました。	23	154
26年2月降雪害対策支援資金	佐野	平成26年2月の降雪による農作物の減収および営農施設の被害により組合員の営農・生活の復旧に必要な資金対応を行いました。	7	15
がんばろう「とちぎの農業」緊急支援資金	足利	東日本大震災に伴う福島第一原子力発電所事故による出荷停止や風評被害等により損失を受けた農業者に資金対応を行いました。	5	19
平成26年雪害対策資金	足利	平成26年2月の降雪害により損失・被害を受けた農業者等に資金対応を行いました。	4	10
災害資金	しおのや	平成26年2月降雪害により被害を受けた組合員に資金対応を行いました。	10	22
米価下落特別支援資金	しおのや	平成26年度産の米価下落に伴い、米の販売収入減少により営農への影響がある組合員に資金対応を行いました。	6	8
台風26号緊急支援資金の対応	なすの	台風で農畜産物の被害を受けた組合員に資金対応を行いました。	8	10
平成26年2月の大雪被害資金の対応	なすの	大雪により被害を受けた組合員に資金対応を行いました。	35	100
平成26年6月の麦穂発芽被害資金の対応	なすの	麦の穂発芽による被害を受けた組合員に資金対応を行いました。	17	18
東日本大震災に伴う資金の対応	なすの	東日本大震災により被害を受けた組合員に資金対応を行いました。	81	212
生産資材高騰対策資金の対応	なすの	昨今の農業生産資材の価格高騰に対し、資金対応を行いました。	6	85
平成26年産米価下落資金の対応	なすの	平成26年産米の価格下落による経済的影響を受けた組合員に資金対応を行いました。	119	138
家畜飼料特別支援資金	なすの	配合飼料価格が上昇したことに対し、飼料の安定的確保と畜産経営の安定化を図るため、資金対応を行いました。	2	38
平成26年産 米価下落対策資金の対応	なす南	平成26年産米の価格下落による経済的影響を受けた組合員に資金対応を行いました。	14	14
合計			678	1,938

(2) JAバンク食農教育応援事業の展開

JAバンク栃木は、地域の子どもたちに農業への理解を促進するため、JAバンク食農教育応援事業を展開し、農業に関する教材「農業とわたしたちの暮らし」の配布や農業体験の受入れ等に取り組んでいます。

教材「農業とわたしたちの暮らし」は、JAバンクを通じて、県下の小学校383校へ23,340冊配布され、授業等において活用されています。

また、県下JAでは下表のような食農教育などの実践活動に取り組んでいます。

【JAバンク食農教育応援事業による活動内容】

JA名	活動名	活動内容
JAうつのみや	農業体験教室 (アグリスクール)	小学生を対象に、野菜の収穫体験や稲刈りの農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。
JAかみつが	農業体験学習	小学生を対象に、学校農園で農作物づくりの農業体験や稲刈りを通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。
JAはが野	農業体験教室 (未来ちゃんクラブ)	小学生を対象に、JA管内(真岡・二宮・益子・茂木・市貝・芳賀)ごとに、それぞれの地域の特色を持った農業体験を行いました。
JAしもつけ	農業体験学習	園児・小学生を対象に野菜の定植・収穫体験やぶどうつみとり体験、乳搾り体験やバター作り体験を行いました。
JAおやま	農業体験学習	小学生を対象に管内産の食材を使った親子クッキングを実施し、農業や食料への関心を深める取組みを行いました。
JA佐野	農業体験教室 (あぐりスクール「夢」)	小学生を対象に田植え、野菜の定植・収穫体験や地元の野菜を使った料理教室を通じて、農業への関心を高める取組みを行いました。
JA足利	農業体験教室 (あぐりキッズクラブ)	小・中学生を対象に、味噌作りや収穫した米や野菜を使用した調理体験を通じて食農教育活動を行いました。
JAしおのや	農業体験学習	園児・小学生を対象にサツマイモの定植・収穫やバケツの稲づくりの農業体験を通じ、農業の理解・関心を深める取組みを行いました。
JAなすの	農業体験教室 (なっちゃんクラブ)	小学生を対象に、農作物(大根、そば等)の種まきから収穫、調理して食べるまでの農業体験や調理実習を行いました。
JAなす南	児童作品展覧会	園児・小中学生を対象に、農業を題材とした書道・絵画をJAまつりに展示しました。また、地産地消の取組みとして学校給食への食材提供を行いました。

以上